

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスほのか		
○保護者評価実施期間	令和8年1月5日		～ 令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	令和8年1月5日		～ 令和8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月28日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	外遊びを行う場所がある。	天気の良い日には、外遊びをする時間を決めて行っている。 ボールを使った遊びや鬼ごっこ、遊具での遊びなど、様々な活動で体を動かす機会を作っている。	遊びの内容が固定化しないように、職員から様々な遊びを提案していく。
2	ホームページで情報発信を行っている。	季節の行事や日々の様子を発信することで、児童デイサービスほのかの様子を保護者や地域の方が分かるようにしている。	ほかのでの活動の理解が深まるように、一つ一つの活動にフォーカスしたブログ記事を作成する。
3	子どもの特性に応じた支援を行っている。	児童の特性や発達状況に応じた自立課題を設定して実施している。	引き続き、児童の個別の発達状況に応じて、自立課題を設定していく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の交流の場が無い。	保護者会を実施していないため、ほのかを利用している保護者同氏が交流する機会が無い。	保護者の方に希望を伺い、保護会の開催を検討していく。
2	地域交流の機会が少ない。	地域の児童クラブや小学校との関わりがなかった。	地域のお祭りに定期的に参加することで、児童デイサービスほのかの存在を認知してもらう。
3	ペアレントトレーニングを行っていない。	ペアレントトレーニングに関する職員の知識が不足している。	職員に対してペアレントトレーニングに関する研修の受講を促していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童デイサービスほのか					公表日	令和8年3月2日	
		利用児童数	20人		回収数	20		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	1		1	屋外で遊べるスペースもあり、体を動かすことができる場所は十分あると感じる	屋外では遊具だけではなく、ドッチや鬼ごっこなどの体を使った遊びを楽しんでいます。室内では、机上遊びのほかに、卓球や床ホッケー等で遊べるスペースも確保しています。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17	1		2		国の配置基準より多く職員を配置し、手厚く支援できるようにしています。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18				2		1日の予定を掲示しており、利用児様はその日の行動を目視でも確認できるような環境を整えています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	19				1		1日の終わりと汚れた時には職員が丁寧に掃除をし、清潔な環境で過ごせるようにしています。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	1					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	2					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20						
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19				1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	1					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	1			1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	8	4	1		7		
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	1					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19	1					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	3	2		5		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	17	3					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	3			1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	3			1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	4	2		4	10	希望がないので実施していませんが、今後希望があれば検討していきます。	
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	2			2			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	2			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	3		2	週に1.2回程度利用児様の様子やイベントの様子をホームページで公開しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19			1	個人情報が洩れることがないように、職員に周知徹底し、書類は鍵付きの書庫にて保管しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	2		1	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18			2	3ヶ月に1度避難訓練（地震津波、火災、不審者等）を行っています。また、災害時に備えて非常食を備えています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18			2	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	2			電話や送迎時にその時の状況とその後の様子をお伝えしています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19	1			子どもの安心できる場所になっています。今後も利用児様に安心して通所してもらえる様、より一層丁寧な関わりを心掛けます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	3			とても楽しみにしており、受診などで休む日は残念がる程です。ほのかさんがあるので、学校へ頑張っています。嬉しいお言葉ありがとうございます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	1			親身になって寄り添っていただき、放デイをほのかさんにして本当に良かったです。支援内容が利用児様に合っているかを都度確認し、満足していただけるように心がけます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービスほのか		公表日		令和 8 年 3 月 2 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		安全に楽しく活動できるよう場を分けている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7		利用児様の人数や特性に応じて職員を多く配置し、より良い支援ができるようにしている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		施設内は全てバリアフリーになっている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		活動に応じて机などを移動し、環境を整えている。また、毎日丁寧に清掃を行い清潔を保っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		パニックになった時などは別室の静かな空間で落ち着けるようにしている。また、学習部屋を設置し、宿題など集中して行える環境になっている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		職員間で振り返り等を行っている。また、半年に1回程度目標設定を行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		年に1度各家庭にアンケートを配布し意見をいただき、それを元に職員で話し合い、質の良い支援ができるようにしている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		月に1度程度、ミーティングをし、業務改善につなげている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	6		第三書評価の検討を今後していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		外部研修に参加したり、オンライン研修サービスを活用して、質の高い研修を受けている。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		支援プログラムを作成し、ホームページで公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		定期的にあセスメントを行い、保護者様の意見を聞き計画書を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		ミーティング内で利用児の様子や課題について共有する時間を設け、その内容を個別支援計画に反映している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		個別支援計画の内容は、全職員が周知し、一貫した支援ができるようにしている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		共通のアセスメントシートを使用し、利用児様の状況を把握している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		5領域を支援内容に盛り込んで計画を作成している。また、利用児様の課題を明確にし、支援内容を設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		利用児様の様子を職員で話し合い、活動プログラムを立案している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		静と動のバランスを考慮したり、四季の行事に触れることができるようにしている。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		個別活動で集中して課題に取り組む時間と集団活動で他者と関わり合っ取り組む時間を設け支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		支援開始前には、その日の活動内容や役割分担等の支援内容を確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		送迎の都合でその日に振り返りができない時には、翌日、振り返りを行い職員間で共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		毎日ケース記録に支援内容とその日の様子を記入している。支援については職員で情報を共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		半年に1回中間評価を行い、見直しを行っている。また、気になることはその都度話し合いの場を設けて情報を共有している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	3	1人ひとりに合わせた支援を行っている。	地域交流の機会がなく、行っていない。交流できる場への参加などを検討していく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	7		自己選択ができる取り組み(買い物練習など)を取り入れ、自分で考えて決めるという経験ができるようにしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		児童発達支援管理責任者が参加しており、ほかのかでの様子や活動内容を伝えている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		学校や相談員等、必要に応じて連携をし、支援している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		送迎時に保護者様と情報共有したり、学校とは下校時刻等プリントなどで情報共有している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		7		相談員と保護者様のみからの情報共有となっている。今後も必要に応じて対応していく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		7		卒業後は情報提供していないが、今後必要に応じて対応していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	6		現在は受けていないが、必要に応じて今後検討していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	6		機会がないため交流していないが、今後検討していく。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	7		豊橋市主催の協議会には積極的に参加し、必要な情報は、全職員に周知している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時や連絡ノート、LINEなどを活用し様子を伝え合い情報共有をしている。また、知り得た情報は全職員に周知し、共通理解している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	6		保護者様を指導する支援は行っていないが、相談には真摯に対応している。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		利用開始時と必要に応じて説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		個別支援計画書の作成前にはアセスメントを行い、保護者様の意向を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		丁寧に説明を行い、保護者様から同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		相談があれば、行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		保護者の負担軽減のため行っていない。要望があれば検討していく。一方で、交流の場は必要ないという意見もお聞きしている。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	職員間で連携を取り迅速に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	ホームページにてイベントの様子や活動の様子を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	知り得た個人情報は外部に漏らさないように職員で徹底し、書類は鍵付き書庫にて保管している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	ジェスチャーやイラストを使いコミュニケーションを取ったり、外国籍の保護者にはローマ字でお手紙を書いたりしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	散歩やお出かけで会った地域の人には積極的に挨拶をするなど交流を心掛けている。	ほのかへの招待については今後検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	月1のミーティングでマニュアルを確認する時間を設けている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	3か月に1回さまざまな想定で避難訓練を行っている。また、反省点を次回にいかせるように訓練終了後は話し合う時間を設けている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	確認し、支援している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	アレルギーについて全職員で共有し、提供前には確認を行い誤飲・誤食がないようにしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	安全計画を作成し、ハサミのりなどは鍵のかかる物置に入っている。柱にはクッションカバーをつけるなど、安全管理には配慮している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	ヒヤリハットを記入し、危機管理の意識を高めている。また、ホームページで公開している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	ヒヤリハットが起きた時には書類を作成している。また、職員間で再発防止策を考え話し合う時間を設けている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	外部研修やオンライン研修サービスで研修を行い、全職員で虐待防止に取り組んでいる。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	身体拘束が予測される場合には個別支援計画に記載し、保護者に了解を取るようになっていくが、今現在そのような事例はない。		